



おくたま

第200号
令和4年2月5日発行

町議会だより



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

原島 匠・書

議会だより 200号特別号



【題字の紹介】

棚沢在住の原島匠氏の書です。27歳のダウン症の青年。お習字を習い始めて約10年になります。元気いっぱいの努力家です。この題字は100枚以上練習して仕上げました。

【写真の紹介】

奥多摩湖麦山の浮橋です。峰谷出身・在住の酒井卓真氏撮影。酒井氏が代表を務める小河内バンバンカンパニー(OBC)では、奥多摩小河内を中心に地域の魅力を発信し、まちおこしに取り組んでいます。

「議会だより」は、昭和47年に創刊号が発行されて以来、早50年が経過し、今回発行する議会だよりは200号となります。そこで次の方々に議会に対するご意見などを寄稿して頂きました。

議会だより200号発行によせて

議長 高橋 邦男

昭和47年に創刊号が発行されて50年、議会だより200号という輝かしい節目を迎えられたことは誠に喜ばしいことであります。これも、編集に携わってこられた多くの関係者の皆様のご努力の賜物であり、そのご尽力に対し心より敬意を表します。

この議会だよりは住民皆さんと議会を結ぶ大切な役割があります。

先日、25年前に発行されました第100号を手にしたところ、当時の議員さんからの一般質問の中で、空き家対策について、「定住策を進める町にあつて空き家・廃屋をどう把握し対処してきたか、また、今後の対策は」という質問があり、町長から、町の最重要課題である過疎対策

の一環として、空き家の活用を図り、人口の定住化を促進する目的で、空き家を調査し実態を把握している。活用は、専門知識を有する町内民間会社に協力を求めたい」という答弁がありました。

他に若者の定住化対策やシーズンオフの観光活性化など、現在でもその対策が求められている質問がありました。

議会だよりは、町の課題や施行されている事業とともに、それに対する町の姿勢や取り組み状況など住民皆さんに知って欲しい内容を伝える大切な使命を担っています。

編集作業は大変ですが、小峰委員長を中心に、編集委員・事務局の皆さんには、住民皆さんから親しまれ、愛される議会だよりの編集にご尽力下さりますようお願いいたします。

議会だより「200号」発刊によせて

前議長 原島 幸次

議会だよりは、昭和47年5月創刊号が発刊され、50年の長きにわたり、定例会など議会での審議や議

案に対する賛否、一般質問の質問・答弁などを町民の皆様をはじめ多くの方にお知らせするため発行されております。

おかげさまで今回「200号」の発行となりましたことは、大変喜ばしいこととあります。この長きにわたり「議会だより」が発行されているのは、議会だより編集委員をはじめ議員各位や多くの皆様の努力や協力によるものと思えます。

創刊発行当時の先輩議員の皆様は、どんな思いで発行されたのでしょうか。

このころの時代は、2月に札幌冬季オリンピックが開催され、スキージャンプ競技では金・銀・銅を独占するなど日本人選手が大活躍する一方、全国各地で学生運動が盛んに行われ、日本赤軍による「浅間山荘事件」が起り、本紙創刊の5月には、沖繩が返還されるなど激動の時代でありましたが、国内は活気にあふれておりました。

「議会だより」も年を追うごとに変化してまいりました。第170号(平成26年8月)発行は、白黒の印刷から一部カラー印刷に、また、第172号

(平成27年2月)発行は、一般質問する議員の顔写真を掲載し、議会だよりの内容に於いても、編集委員の方々の色々なアイデアと工夫により充実した内容になってまいりました。

これからも町民皆様をはじめ多くの方々に議会に対して、ご理解をいただくためさらに読みやすく支持されるような「議会だより」を目指し、研鑽を積み、素晴らしい「議会だより」になることを期待いたします。

温故知新

町長 師岡 伸公

議会だより第1号の表紙の写真は、ほぼ満水の奥多摩湖、峰谷橋を臨むものでした。議会の活動を町民皆様に広く知ってもらいたいとのことから、昭和47年5月、町の広報から独立した形での発行が始まり、第200号の歴史を刻みました。議員諸先輩に敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます。

この2年間、新しい議会構成になつてからも新型コロナウイルス感

染症との戦いが続いています。議員活動も大きく制限されていると拝察いたします。私自身も12年間議員を務めさせていただきましたが、区市町村、また全国の議員皆様との研修会等で得られた情報・経験は貴重な財産となつてその後の活動に活かされました。特に町村議長会では、島しょ部の皆様との交流もあり、防災・観光・過疎対策など、各々の立場で意見交換ができました。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、特に新しく議員に就任された皆様にも研修機会が多くなることを願つてやみません。

時代が、昭和・平成・令和と移り行き、環境問題をはじめ世の中の価値観、趨勢(すうせい)が大きく変わりつつあります。昨今においては、議員皆様からいただくご質問、ご意見にも時代を映し出す課題が多く認められます。一つひとつの課題をかみしめ、施策に繋げてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議会だより200号発行を契機として、今後益々の紙面の充実を祈念し

お祝いの言葉といたします。

議会だより 200号発行によせて

議会だより編集委員会

委員長 小峰 陽一

議会内役職の任期満了に伴い、昨年12月より議会だより編集委員会委員長に就任いたしました。

「議会だより」の役目は、町の取り組み方や議会の内容を正確に、解りやすく掲載し、町民皆さんに読んでいただける事が重要であると考へております。

200号発行の節目に当たり、今一度原点にかえり、先輩委員の意見や町民皆さんからの意見を頂ければ幸いと思ひます。

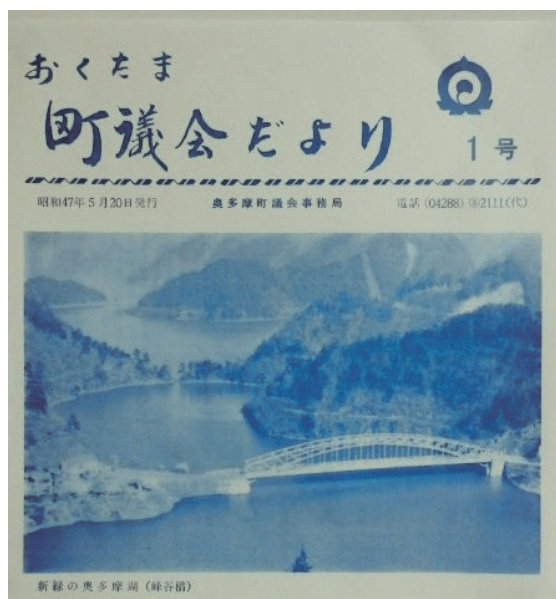
これからも、新委員の皆さんと編集に取り組んでいきますので、ご意見ご要望などあれば、委員会にお寄せいただきたく、宜しくお願ひいたします。



おくたま町議会だより「創刊号」及び「100号」表紙の紹介

おくたま町議会だより「創刊号」

おくたま町議会だより「100号」



新緑の奥多摩湖(峰谷橋)



氷結した百尋の滝(川苔山)

新しい議会構成が決まりました

皆様のご支援を

お願い申し上げます



議長 高橋 邦男



副議長 小峰 陽一

就任にあたって

昨年12月1日より、各議員が所属する委員会、及びその正副委員長等の議会構成が替わり、私も高橋邦男、小峰陽一が正副議長に就任いたしました。微力ではありますが、その使命を果たしてまいります。

町民皆様には、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛、営業自粛、感染防止対策などご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。ここに来て、感染が拡大してまいりましたので、引き続き感染防止対策にご協力をよろしくお願いたします。

町には、少子化や観光・林業の振興とともに、日常の生活における不便さの解消など、取り組むべき課題が数多くあります。町と議会がしっかりと議論し、その解決策の一つでも町民皆様に示すことができるよう、議員一同力を合わせ、議会活動に努めてまいります。

第1回臨時町議会

11月29日、第1回臨時会が招集され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任が、次のとおり決定しました。

◎委員長 ○副委員長

(常任委員会等)

◎石田 芳英 ○大澤由香里

伊藤 英人 小山 辰美

澤本 幹男 小峰 陽一

◎経済厚生常任委員会(6名)

◎木村 圭 ○宮野 亨

森田 紀子 相田恵美子

高橋 邦男 原島 幸次

◎議会運営委員会(6名)

◎原島 幸次 ○小山 辰美

木村 圭 大澤由香里

小峰 陽一 石田 芳英

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により、原案のとおり承認、可決されました。

条例

◎議案第57号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第58号

奥多摩町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◎議案第59号

奥多摩町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例



議 員 の 賛 否

賛否が分かれた議案を掲載

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	石田 芳英	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤由香里	木村 圭	小山 辰美	相田恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	議員名 議案番号
※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議案第 57 号
※	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	議案第 58 号 議案第 59 号

【賛成・・・○ 反対・・・× ※議長は、裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。】

第 4 回 定 例 町 議 会

第 4 回 定 例 会 は、12 月 8 日 か
ら 14 日 ま で の 会 期 7 日 間 に わ
た り 開 催 さ れ、一 部 事 務 組 合 議
会 議 員 の 選 任 等、次 の と お り 決
定 し ま し た。

西 秋 川 衛 生 組 合 議 会 (3 名)

森 田 紀 子 木 村 圭

宮 野 亨

秋 川 流 域 斎 場 組 合 議 会 (2 名)

澤 本 幹 男 石 田 芳 英

三 多 摩 上 下 水 及 び 道 路 建 設 促 進
協 議 会 (4 名)

副 会 長 高 橋 邦 男

第 1 委 員 会 (上 水 道)

相 田 恵 美 子

第 2 委 員 会 (下 水 道)

森 田 紀 子

第 3 委 員 会 (道 路 建 設)

伊 藤 英 人

三 鷹 ・ 立 川 間 立 体 化 複 々 線 促 進
協 議 会 (2 名)

石 田 芳 英 高 橋 邦 男
多 摩 地 域 都 市 モ ノ レ ー ル 等 建 設
促 進 協 議 会 (2 名)

石 田 芳 英 高 橋 邦 男
多 摩 川 南 岸 道 路 建 設 促 進 協 議 会
(7 名)

伊 藤 英 人 森 田 紀 子
相 田 恵 美 子 小 山 辰 美
大 澤 由 香 里 宮 野 亨

原 島 幸 次
議 会 だ よ り 編 集 委 員 会 (5 名)

◎ 小 峰 陽 一 伊 藤 英 人
森 田 紀 子 相 田 恵 美 子
木 村 圭

表 彰 審 査 委 員 会 (4 名)
木 村 圭 小 峰 陽 一

石 田 芳 英 高 橋 邦 男
青 少 年 問 題 協 議 会 (3 名)

相 田 恵 美 子 小 山 辰 美
大 澤 由 香 里

下 水 道 事 業 運 営 委 員 会 (2 名)
伊 藤 英 人 宮 野 亨

健 康 づ け り 推 進 協 議 会 (1 名)
小 山 辰 美

国 民 健 康 保 険 運 営 協 議 会 (1 名)
木 村 圭

環 境 審 議 会 (3 名)
森 田 紀 子 澤 本 幹 男

原 島 幸 次
小 口 事 業 資 金 融 資 制 度 等 審 議 会
(3 名)

森 田 紀 子 小 山 辰 美
大 澤 由 香 里

消 防 団 員 等 公 務 災 害 給 与 金 支 給
審 査 委 員 会 (3 名)

小 峰 陽 一 石 田 芳 英
高 橋 邦 男

西 多 摩 地 域 広 域 行 政 圏 協 議 会 審
議 会 (3 名)

小 峰 陽 一 石 田 芳 英
高 橋 邦 男

三 か 町 村 議 会 議 員 広 域 連 絡 協 議
会 (12 名)

全 議 員
大 多 摩 観 光 連 盟 (1 名)

参 与 高 橋 邦 男
奥 多 摩 町 ・ 檜 原 村 間 連 絡 道 路 建
設 促 進 協 議 会 (7 名)

伊 藤 英 人 相 田 恵 美 子
大 澤 由 香 里 小 峰 陽 一

石 田 芳 英 宮 野 亨
高 橋 邦 男

今 後 2 年 間、以 上 の 構 成 で 町
の 諸 課 題 に 取 り 組 ん で い き ま す。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決、同意されました。

条例等

○議案第60号

東京都市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更

補正予算

○議案第61号

一般会計(第3号)

○議案第62号

国民健康保険特別会計(第2号)

人事

○議案第63号

議会選出監査委員、木村圭氏の辞職に伴い、監査委員の選任の同意

澤本 幹男氏(新任)

(川井647番地1)

一般質問

(1) 7番 澤本 幹男議員

①奥多摩町の今後の大きな事業について

②OKUTAMA+について

(2) 9番 石田 芳英議員

①木材発電、薪ストーブ活用等による町内森林資源の有効活用について

(3) 10番 宮野 亨議員

①小水力発電のモデル事業について

②女性の「デジタル人材」を育てる先進的取り組みを

(4) 5番 木村 圭議員

①遊歩道の整備について

(5) 4番 小山 辰美議員

①町新庁舎建設について

②ポッチャ競技の普及について

(6) 3番 相田恵美子議員

①奥多摩町のジェンダー平等について

(7) 8番 小峰 陽一議員

①「奥多摩むかし道」の安全対策について

(8) 1番 伊藤 英人議員

①令和3年度地域おこし協力隊募集について

②産後ケア事業の早期実施について

(9) 6番 大澤由香里議員

①特別障害者手当制度の周知と利用促進について

②利用しやすい電車に

(10) 2番 森田 紀子議員

①MCI(軽度認知障害)の早期発見対策について

②町道の除雪について

令和3年第4回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、2月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ「町議会」会議記録)
また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。

次回3月定例会日程(予定)

- 2/24 議会運営委員会
- 3/3・3/7 本会議(議案審議)
- 3/9 本会議(一般質問)
- 3/11・3/15 予算特別委員会
- 3/17 本会議(当初予算等採決)

請願・陳情は!

3月定例会では、2月16日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。

- ① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要です。(陳情は不要です)
- ② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名)の場合は押印)してください。
- ③ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
- ④ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。



新会と本
清さわも澤
みきお 幹男 議員

問 1 奥多摩町の今後の大きな事業について
2 OKUTAMA+について

答 1 台風災害復旧とコロナ対策最優先
2 町としては問題ないと解釈している

質問1 町は河村前町長時代に長年の懸案であった多くの課題と問題を処理した。第一に町営水道の都営一元化を実現し毎年5千万円の赤字と水道管更新と耐震対応、新浄水場建設問題が無くなり総額百億円以上の負担減である。又、下水道事業を10年かけて行ない、西秋川衛生組合と秋川流域斎場組合に加入等を行った。今町が考えている大きな事業は何か。

町長1 東京都が進める多摩川南岸道路や老朽化が進み早期の建設が必要となっている役場庁舎の建替えは災害に備える観点からも重要であり大きな事業と位置付けている。各地域の生活館の避難所のあり方を検討、少子高齢化対策を含めた過疎対策が今後も重要な課題と認識。今は令和元年の台風災害の復旧事業と新型コロナウイルスから住民生活を守る事が最優先。**町長2** 奥多摩日本語学校は「旧古里中学校校舎等活用事業」で応募した中から(株)JELLYFISHに決定し現在に至っている。①地域の発展を前提とした事業を展開する事業者の中から広く募集した。学校関係事業ありきではなかった。②町と(株)JELLYFISHが締結した旧古里中学校校舎等賃貸契約書には日本語学校の使用を前提としているが日本語学校に限定されない。

質問2 奥多摩日本語学校は現在法務省の入国管理の問題で学生が入学できず、OKUTAMA+として事業を行い、テレワークセッションができる宿泊施設となっているが、地元から車がスピードを出して走るの怖い、バーベキューの火の粉が山へ飛んでいる、夜遅くまで大騒ぎをしている、何をやっているのかがわからない等の話あり。そこで以下問う。
① 契約は日本語学校経営でないのか。
② 別事業を許可する契約があるのか。

町長1 東京都が進める多摩川南岸道路や老朽化が進み早期の建設が必要となっている役場庁舎の建替えは災害に備える観点からも重要であり大きな事業と位置付けている。各地域の生活館の避難所のあり方を検討、少子高齢化対策を含めた過疎対策が今後も重要な課題と認識。今は令和元年の台風災害の復旧事業と新型コロナウイルスから住民生活を守る事が最優先。**町長2** 奥多摩日本語学校は「旧古里中学校校舎等活用事業」で応募した中から(株)JELLYFISHに決定し現在に至っている。①地域の発展を前提とした事業を展開する事業者の中から広く募集した。学校関係事業ありきではなかった。②町と(株)JELLYFISHが締結した旧古里中学校校舎等賃貸契約書には日本語学校の使用を前提としているが日本語学校に限定されない。



会
ファーストの民
だ
石田 芳英 議員

問 木材発電、薪ストーブ活用等による町内森林資源の有効活用について

答 需要と供給のバランスを見定めて検討していきたい

質問 COP26では、2030年代「脱石炭」とし、クリーンパワーへの移行が次々と表明された。町でもCO₂削減のために何らかの施策を検討すべきであり、ここで重要になるのは山に眠っている木材ではないかと考える。木材を燃料とした発電はCO₂排出が少なくクリーンである。日本は「電力システム改革」により、現在『発電部門』『送配電部門』『小売部門』は完全に分離され、大手電力会社の独占市場状態は解消され、電力事業の参入が出来るようになっていく。今後需要と供給の発見と見極めが重要となる。
① 木材発電(バイオマス発電所)推進について町の考えを伺う。
② 薪ストーブは、木材の活用やCO₂削減を目に見える形で自律的に実施できるが、普及について伺う。

町長 再生可能エネルギーは温室効果ガスを排出せず、国内生産できることからエネルギー安全保障にも寄与できる。有望かつ多様で重要な低炭素の国産エネルギー源として注目されている。このうち木質バイオマスは、国土の7割を森林が占める我が国にとって、豊富に存在する再生可能エネルギー源である。
① 令和2年3月末で設備認定を受けた木質バイオマス発電所は382ヶ所あり、このうち約180ヶ所が稼働している。町では「もえぎの湯」木質バイオマス推進事業で買取制度を実施したが、材料確保に苦慮し、またバイオマス発電設備建設には多額の費用がかかることから、町主体の木材発電推進は難しいと考える。② 薪ストーブの普及は、木材確保や供給体制の整備の課題もあるが、木質資源の有効活用のひとつのツールとして薪ストーブのニーズの把握を行い、需要と供給のバランスを見定めて検討していきたい。



明党
公野
みよの
宮

とある
亨
議員

問 小水力発電のモデル事業について

答 先進事例等を研究・検討を進める

質問旧地域水道や漁業組合管理、池の配水、水流を利用して発電機の水車を回し、発電等について伺う。
①『ゼロエミッション東京』の実現に向け、町はどのように取り組むのか。
②再エネに必要な優秀な人材を確保するための環境の整った居住・定住策を。
③落差の大きい沢筋や養魚池等に合った、クロスフロー水車、設置費用の一部負担を。

町長①現在実行中の第5期奥多摩町長期総合計画が令和6年度までの計画期間であることから、次代を担う子どもたちのためにも環境に対して、「二酸化炭素」や「硫酸化物質」など排出しない「クリーンエネルギー」や「水素エネルギー」などの積極的な活用を念頭に、「脱炭素社会」の実現による「地球温暖化」の防止を目指し、第6期長期総合計画の策定に向け準備を進める。
②奥多摩創造プロジェクトに基づ

き、魅力的で住みやすい住環境の提供と、空家ストックの有効活用とのマッチングについて「研究・検討を進め、再生可能エネルギーに関するノウハウを有する人材の発掘・誘致を図り、定住促進を進める。

③全国各地で再生可能エネルギーの開発に伴う、小水力発電のニーズが増加していることから近年注目度も高まり導入例も増加している。クロスフロー水車のメリットは、水車が標準化された部品を組み合わせた溶接構造のため、低コストで短納期が可能であり、単純構造のため、メンテナンスも容易で、実用性・汎用性が高いものと理解している。議員提案の「再生可能エネルギーの地産・地消」は近年、「エネルギー業界」の大きなトレンドである。水車の設置費用の一部負担は、先進事例等を研究し、検討を進める。



新会
清村
きむら
木

けい
圭
議員

問 遊歩道の整備について

答 関係機関とも情報共有を図り、安全対策並びに景観維持に努める

質問氷川渓谷遊歩道は観光客の散策コース、そして地元の人々の散歩コースとして、多くの方々に親しまれている。氷川大橋から日原川上流を見ると両岸の木が大きくなり枝が張りだし水面が見えなくなっていて景観が悪い、また、この遊歩道に限らず、周りの樹木が大径木になり、木の枝が落ちてきて危ないとの通報がある。遊歩道を利用する人々の安全確保と景観維持のため、空師（そらし）などにより、遊歩道周辺の樹木の適切な管理が必要と考えるが、町の対応は。

町長町では、遊歩道等の適切な維持管理を行うため、町内のハイキングコースを毎月一回から三回の巡視を行っており、また、景観が悪い箇所についても東京都の補助金を活用して、立木所有者の承諾をいただき、現在は「むかし道」を中心に景観伐採事業を実施している。

空師とは、クレーンなどの重機が入らない民家やお寺などの狭い場所にある高い木を、特殊な木登り技術を駆使して木に登り、枝や幹を伐（き）る樹上作業の専門家で、全国で30人ほどしかいないと言われている。町の広範囲にわたる全ての遊歩道の樹木を空師などの専門家により適切に管理していくことについては、管理費用などの財源の問題など課題があるが、遊歩道等を利用する方々が安全に安心して利用できるよう、引き続き、危険箇所等の把握を行うとともに、東京都環境局、奥多摩ビジターセンター、観光協会などの関係機関とも情報共有を図り、安全対策並びに景観維持に努める。





山なみ会
こやま たつみ
小山辰美議員

問
1 町新庁舎建設について
2 ポッチャ競技の普及について

答
1 早期建設を認識している
2 普及啓発を行う

質問1現在の庁舎は56年が経過し耐震不足や老朽化が進んでいる。町では平成28年度に「新庁舎庁内検討委員会」を立ち上げ建設に向けて動き出している。新庁舎建設には、建設用地の選定と財源の確保という大きなハードルがある。また、町民サービスの窓口、防災拠点、利用者の利便性の確保や維持管理費についても考える必要がある。庁内検討委員会が発足して約6年が経とうとしているが新庁舎庁内検討委員会における検討状況と今後の見通しについて伺いたい。

質問2令和3年、2020オリ・パラが開催された。ポッチャでは金メダルを獲得し感動した。ポッチャは運動機能に障害ある人たちのために考案されたスポーツである。障害者だけでなく、子どもたちから高齢者まで行える誰でもできるスポーツを町では普及できるか伺う。

町長1新庁舎建設庁内検討委員会設置要綱は、平成28年6月に制定され、副町長を委員長とし必要事項を調査検討することを目的に設置した。令和元年度から企画財政課が所管課となり、建設候補地の検討、他自治体における取組状況等の情報収集を行う。建設候補地として可能性のある地権者と複数回の協議を行っている。財源対策では庁舎建設基金が令和2年度末で9億5千万円を超え、東京都に対しても市町村総合交付金をはじめとする財政支援をお願いしている。

教育長2教育委員会では、町民の健康増進や生涯スポーツの推進に役立てるため、ポッチャ競技の普及を目指し、平成27年度からスポーツ推進員主催による「ポッチャ教室」を開催し、小学生の放課後スポーツ教室で体験を実施している。引き続き普及啓発を行っていく。



ガジュマルの会
あいだ えみこ
相田恵美子議員

問
奥多摩町のジェンダー平等について

答
男女が共に活躍できる社会へ向けて取り組む

質問奥多摩町では平成11年度に「豊かさの町は人の輪 男女の輪」をテーマに男女共同参画社会を目指す「奥多摩町女性行動計画」が当時の大館町長の肝いりで策定され、女性による女性問題担当係が配置されていた。現在は第5期長期総合計画に組み込まれている。

コロナ禍で女性の社会的地位の低さが顕在化、根底には固定的な性別役割分担を反映した慣習がある。ジェンダー平等は人権の問題であり、マインオリテイの人権問題の延長線上にある重要な問題である。

①男女共同参画関係施策の推進のためには、同性による女性問題担当係の復活が必要である。町の考えは。
②女性管理職登用について、町が工夫している環境作りは。
③ジェンダー平等の意識の基盤は教育である。町の教育現場での取り組みは。

町長1平成9年度から平成11年度に教育委員会社会教育課に女性問題担当ポストを配置した。復活については役場業務や様々なニーズへの対応が求められている中で実現可能か、行政改革検討委員会等で議論していきたい。

②奥多摩町特定事業主行動計画において、6つの視点で女性職員の活躍推進のための具体的な取組み指針を定めている。全職員の仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の実現を基本としつつ、仕事と子育ての両立を支援する職場環境を目指し、各々の事情や考え方を尊重していく。
③東京都男女平等参画基本条例に基づき、男女がお互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を児童・生徒に理解させる男女平等教育を推進している。



新会 清新
こみね 小峰
よういち 陽一 議員

問 「奥多摩むかし道」の安全対策について

答 地域住民や観光客が「安全」で「安心」して利用できるよう、道路維持管理に万全を期す

質問 平成20年4月に東京都で初となる「森林セラピー基地」の認定を受け、5つの「セラピーロード」を設定し「健康増進」などを目的に町内外の人達に利用されている。その中でも自由に散策が楽しめる「奥多摩むかし道」に訪れる人々をよく見かける。コース中にある公衆トイレ（小中沢、惣岳）は非常にきれいで評判が良い。このコースは小河内ダム建設用道路として使われたもので、山腹は開削されたままで切り立ち、落石が多く発生している。これまでに大きな災害はなかったが、町では定期的に落石受けネットの施工、点検、清掃を継続的に実施している。コース中間点付近には、東京都指定天然記念物である「白髭の大岩」（大正15年4月指定）や「白髭神社」が鎮座しているが、その周辺の岩盤は以前から大きな亀裂が発生しており、地盤沈下も見られるので、コースを訪

れる皆さんの安全と文化財保護のため、早急な対策が必要と思うが、町の所見を伺う。

町長 「奥多摩むかし道」は、人気のウォーキングコースであると共に南氷川から西久保の区間の5路線（延長約7.1km）は町道として、担当課で常態的にパトロール点検を行い、道路の機能保全及び安全の確保に努めている。町では安全を確保するため、斜面が急勾配な場所や落石が懸念される場所について調査し、平成7年度から「電源立地地域対策交付金」を活用し、「ボケット式落石防止網」を延長約1.9km整備しており、議員指摘の「白髭の大岩」付近の現場は担当課が確認したが異常は確認できなかったが、「白髭神社社殿」周辺では亀裂が生じている状況が確認されているので、定期的なパトロールによる経過観察をし、道路維持管理に万全を期す。



どんぐり 伊藤
ひでと 英人 議員

問 産後ケア事業の早期実施について

答 幅広い社会資源の協力のもと子育て政策の中で事業を推進する

質問 核家族化・晩婚化等により家族等の助けが十分得られず、産前産後の身体的精神的に不安定な時期に不安や孤独の中で育児を行う母親が存在する。そんな母親と子どもへの「産後ケア事業」の実施が、令和3年母子保健法の改正により市町村の努力義務となった。奥多摩町では定住促進政策により近居する親族のいない世帯の増加が続くとみられる。

①町の産後ケア事業の実施予定、課題等は。②町独自の方針は。③利用者の環境、属性、利便性への配慮は。

町長 ①現在、乳幼児・保護者の定期的な健診、訪問指導、予防接種、母親学級、健康相談を実施。予定として、東京都の助産師指導・相談事業などの利用促進を考えている。課題として、専任の母子保健師の採用と「子育て世代包括支援センター」の開設（母子保健施策と子育て支援施策を一体的に提供し、妊娠期から子

育て期まで切れ目ない支援体制を構築する機関で、専任の母子保健担当保健師が必置）、対応可能な事業者や施設が町にない点（旅館・ホテルの空き部屋利用や地域の病院との提携により宿泊型・日帰り型の母子保健サービスを提供する市町村もあり、その方式等を検討する）、事業者やマンパワーがなくサービス開発に時間がかかる点、秘密保持と関係者間の連携構築が課題である。

②自治体の実情に合う事業を展開し、子育ての第一義的な責任は保護者にあるという基本的認識のもと、子ども・子育て支援施策の中で産後ケア事業を推進する。

③子育て政策は重点的に推進すべきと考え、産後ケアにおいても、地域間格差解消、課題解決に取り組むオンライン診療の実施を町内医療機関でも検討を始めている。



日本共産党
おおさわゆかり議員
大澤由香里

問 特別障害者手当制度の周知と利用促進について

答 介護支援専門員連絡会などで周知徹底をしていく

質問精神又は身体に著しく重度の障害があり、日常生活において常時特別な介護を必要とする20歳以上の方に対して、月額2万7350円の手当が支給される国の特別障害者手当の制度について、障害者手帳がなくても厚生労働省が示す「障害程度認定基準」に該当すれば対象となり、要介護4・5の方のなかで対象となる可能性があるが、この制度について町としてどのように周知徹底されているか。

町長周知は厚生労働省や西多摩福祉事務所のホームページなどの広報と同様に町ホームページや、「奥多摩の福祉サービス」の冊子で案内している。実際に在宅で介護されている方で特別障害者手当の対象になり得る方は20名程度と推測される。介護認定で要介護4以上と判定されれば施設へ入所される方が多く、施設の種類や入所期間にもよる

が、施設入所者は特別障害者手当の対象資格がなくなることから、特別障害者手当制度をご存知の方でも申請をされないことが現状だと考えられる。今後は、制度の対象となり得る要介護認定を受けた殆どの方に就くケアマネージャーが特別障害者手当の助言等を行なうよう、町の介護支援専門員連絡会などで周知徹底をしていく。しかしながら本人のプライバシー保護の観点からも、対象者本人や家族の方に対し積極的に申請の有無を尋ねることは慎重になるべきであると考えます。今後は、社会情勢を注視し、国及び東京都の指導を得ながら、住民の高齢化率や生活実態などを踏まえ、様々な観点から対応に努めます。



問 MCI(軽度認知障害)の早期発見対策について

答 認知症発症予防や早期発見に努めている



幸福実現党 宇宙会
もりたのりこ議員
森田紀子

質問認知症を引き起こす病気には様々なものがあるが、最も多いのがアルツハイマー病である。アルツハイマー病による認知症には、認知症になる一歩手前の段階のMCI(軽度認知障害)があり、早い段階から適切な対策をとった場合、16%以下の方が健常な状態に戻る可能性がある。そのため早期発見が不可欠である。①現在奥多摩町に認知症サポート医養成研修を受けた認知症サポート医はいるか。②アルツハイマー型認知症の因子であるアミロイドβは発症の20年前から脳に貯まり続けていると言われている。筋肉を鍛えることによってアミロイドβを減らせる可能性があるが、予防のため今後筋力向上トレーニングの施設を転用し、65歳以下のシニア世代でもトレーニングを受けられるか。

町長奥多摩病院内に認知症疾患医療センターが設置されており、地域

の認知症に係る専門医療機関、一般病院や精神科病院等と緊密な連携を図り、地域全体で受け入れる体制を構築している。希望者には病院内の相談室で電話や面談による無料相談に応じており、地域包括支援センター及び福祉保健課と連携を図っている。

①平成29年度に奥多摩病院井上院長が認知症サポート医研修を受講しており、井上院長を中心に、町内関係機関職員への認知症研修も定期的に行っている。

②現在福祉会館の機能訓練室で40歳以上の方を対象とした筋力トレーニングマシンを正しい使い方を学んでもらう筋力向上トレーニング講習会を実施している。また、今年度JR古里駅前に設置予定の施設では、50歳以上のプレシニア世代から利用できるよう検討する。

議会日誌

11月

3日 功労者表彰式

9日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

11日 全員協議会

15日 東京都後期高齢者医療広域連合令和3年第2回定例会議案

19日 令和3年度三か町村連絡協議会

21日 天祖山監視委員会

24日 福祉大会

26日 環境審議会

29日 第65回町村議会議長会全国大会

30日 議会運営委員会・町議会臨時会

30日 常任委員会

30日 東京都後期高齢者医療広域連合令和3年第2回定例会

12月

1日 議会運営委員会

8日 議会だより編集委員会

14日 町議会第4回定例会

14日 議会だより編集委員会

14日 町議会第4回定例会

14日 議会だより編集委員会

1月

15日 歳末たすけあい・地域福祉募金配分会

16日 下水道事業運営委員会

21日 西多摩郡町村議会議長会事務局

4日 仕事始め式

5日 青梅商工会議所新年賀詞交歓会

7日 議会だより編集委員会

9日 奥多摩町消防団出初式

10日 成人の日の式・成人の集い

13日 議会だより編集委員会

13日 奥多摩町国民健康保険運営協議会

14日 西多摩郡町村議会議長会臨時総会

17日 東京都後期高齢者医療広域連合令和4年第1回定例会議案

18日 説明

18日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会正副委員長会議第2回

20日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会第2回

28日 三多摩地区消防運営協議会第二部会

28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会第2回

28日 東京都後期高齢者医療広域連合令和4年第1回定例会

議会だよりのご感想をお寄せください。また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。



* 議会だより編集委員会委員紹介 * (左の写真 左上から) 木村委員、小峰委員長、伊藤委員 森田委員、相田委員

編集後記



議会の様々な歴史を刻んでいる議会だよりが、200号を迎えました。現在、国では多くの問題を抱えている、地球温暖化対策をはじめウィズコロナ対応・ジェンダー平等・人権問題など。そして、町の問題は、観光事業の振興・庁舎建替え・南岸道路の延伸・少子高齢化問題など多岐にわたります。

議会は、地方公共団体の意思決定する機能及び執行機関を監視する機能を担っており、住民の代表として町の発展と住民福祉等の向上のため、町長(執行機関)と相互けん制と調和により、町の適正な運営を期すこととしております。今後も議会は、町民の声を聞き安心安全で誰もが住み続けたい町づくりを努めてまいります。そして、魅力ある「議会だより」の発行をめざします。

- 小峰 陽一 伊藤 英人 森田 紀子 相田恵美子 (木村 圭)